

## ふるさとやまがたの課題に立ち向かうグローバルリーダーの育成

創立137年を迎え、県内でも有数の進学校である本校は、将来、地域はもとより国内外で地域の課題に立ち向かうグローバルリーダーとして活躍する人材の育成が期待されている。そのために、地域の行政機関や専門組織、大学等研究機関、企業等と協働して教育プログラムを開発する。具体的には地域とのコンソーシアムを構築しながら「山東探究塾」（総合的な探究の時間）等の取組及び探究型学習を取り入れた授業改善を行う。

管理機関である山形県教育委員会の下、山形県立山形東高等学校が、山形市、公益社団法人山形県観光物産協会、東北芸術工科大学、山形経済同友会とのコンソーシアムを構築し、連携機関として山形大学の協力を得ながら、地域と協働して、目指す人材育成のための教育プログラムを実践している。

また、運営に当たっては、上智大学教授 奈須正裕氏、山形大学准教授 森田智幸氏、一般社団法人i.club代表理事 小川悠氏の他、地域・保護者代表として長谷川吉之介氏・古川光伸氏の指導・助言を受けながら研究開発に取り組んでいる。

### 令和4年度の目標

\* コロナ禍においても教育効果をあげることができる教育プログラムの実施

\* 探究型学習を取り入れた授業や「山東探究塾」で身に付いた資質・能力を明らかにしながら、生徒が自らの進路実現や生き方・在り方に活かすことができるような地域と協働した教育プログラムの完成、及びその事業成果を広めるための報告会等の実施

\* 事業終了後も自走可能となる地域との協働体制の構築

進路実現  
生き方・在り方



身に付いた  
資質・能力

山東探究塾  
探究型授業

学校

地域



### 取組状況

\* コロナ禍においても、ICTを活用し、オンラインで実施するなど工夫しながら、ほぼ計画どおりに教育プログラムを実施した。

\* 生徒に身に付けたい資質や能力やその評価の在り方について、研修会への参加や先進校視察、職員研修会等に取り組んだ。

\* 事業の成果を広めるために、学校訪問やメディアの取材、発表等の依頼を積極的に受け入れるとともに、事業成果報告会を実施した。

### 成果と課題

(1)地域と協働しながら実践を伴う探究活動を行うことで、生徒の地域社会への理解が深まるとともに、授業も含めた教育活動を通して生徒に多様な資質・能力（課題解決の探究サイクルを実生活に活かしたり、グローバル・俯瞰など複数の視点で物事を捉えたり、人・物・資金・時間のマネジメントができたり、分野・領域横断型の発想や具体的な進路目標を持つなど）が育っていることを実感することが出来た。

(2)地域と協働することで、生徒の学びや成果発表等の場や機会が増えている。また県内外の多くの教員が学校訪問や研修会・発表会に参加することで、情報交換の機会も増え、学校間の学びの場も形成されつつあり、今後も期待できる。